

第7回 あげお未来創造市民会議 会議録

1. 日 時 令和元年11月29日(金) 9時30分～12時00分
2. 場 所 青少年センター会議室
3. 出席者 委員：飯塚 純 ・市倉育江 ・伊原広茂 ・大木晴夫 ・大澤サユリ
大塚常司 ・小川早枝子 ・河原塚透 ・桐原陽子 ・小島 勝
小牟田健治 ・関本正弘 ・高橋雅之 ・竹村絵里 ・刀根正克
中澤正俊 ・能登 貢 ・萩原和也 ・本城文夫 ・増田澄雄
的場保子 ・宮田敬生 ・矢島通夫 ・山尾三枝子 ・横堀鶴雄
(欠席委員 小川和男 ・岡部千里 ・鈴木靖代 ・山口 直)
事務局：行政経営課野崎課長 ・本郷副主幹 ・東海林主任
加計外付： 永澤副主幹 ・松本主査 ・鈴木(彰)主任 ・大橋主任 ・吉岡主任
野澤主任 ・林主任 ・田中主任 ・細井主任 ・石川主任
野間主任
コンサルタント：株式会社コーエイリサーチ&コンサルティング

4. 次 第

〈第7回あげお未来創造市民会議〉

- 1 開会
- 2 グループ討議
・施策に対する意見検討②(協議分野1の必要な取組)
- 3 その他
- 4 閉会

5. 配付資料 次第

あげお未来創造市民会議～第7回資料～
分野ごとの取組検討シート

6. 議事概要

〈第7回あげお未来創造市民会議〉

1 開会

委員長：皆さま、おはようございます。本日は、お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。これより、第7回あげお未来創造市民会議を始めさせていただきます。はじめに事務局から事務連絡をお願いします。

《事務局が木村委員と野田委員の辞任、横堀委員の着任について報告。また、本日の配付資料について確認》

2 グループ討議

委員長：それでは、次第に沿って進めてまいります。次第の2「グループ討議」についてですが、前回からグループを協議テーマごとに5つに分け、総合計画の「基本計画」について議論を開始しました。今回は、それぞれの協議テーマに沿って「理想の状態」について協議しましたので、今回はその「理想の状態」に向けた必要な取組について議論をしていただくこととなります。

《コンサルタントが「あげお未来創造市民会議～第7回資料～」に基づき、前回の議論のあらましや本日の協議テーマ、協議の方法などについて説明》

《5グループに分かれ、各グループの協議テーマにおける「理想の状態」について議論し、発表した》

委員：Eグループでは「福祉」について議論しました。「福祉」を考えるに当たっては、本質的には分野分けは不要と考えます。また、「福祉」の対象者を固定せず、誰もが受け手であり、支え手であるとの認識に立つことが重要です。就労支援などを通じて障害を知ってもらい、これまであまり「福祉」に関わってこなかった会社員なども巻き込んでいくことが求められます。また、企業などにおいて働き方改革を進めておくことも大切です。「福祉」は受け手にきちんと届くことも重要です。このため、すでにある取組が十分に認知されていない場合には、情報発信を強化したり、相談しやすい体制づくりを進めることが求められます。このほか、子どもの中から「福祉」に関する啓発を進めておくことも重要ではないでしょうか。

委員：Dグループでは「防災・防犯・交通安全」について議論しました。このテーマについては、分野横断的な取組が重要と考えます。例えば、街灯を設置することでまちを明るくすれば、「交通安全」と「防犯」のどちらにもつながります。「交通安全」については、免許返納者に対して市が今後どのような施策を講じていくのかが見えてこないで、市の方向性を明らかにしていくことが大切だと思います。「防災」については、地区防災計画や事前復興計画の策定が必要です。また、今年の台風15号、19号は、避難所へのアクセスや運営について改めて考える機会になりました。災害時のマニュアルの作り直しやハザードマップの見直しも求められるのではないのでしょうか。「消費生活」については、食品ロスを減らしていくことが重要です。余った食品を学童保育所に提供することなども考えられます。また、洋服や制服のリサイクルも大切です。このほか、まち全体で地産地消を進めていくことも重要です。学校給食やスーパーの食品売り場に上尾市の食品が多数並ぶようになればよいと思います。最後に、こうした取組について、今後どのように市政に反映していくのか明確になった方が意見を出しやすいと思いますので、お願いします。

(他グループからの意見)

委員：再び関東大震災のような災害が起きることを想定して準備を進めておく必要があると思います。被災すると、飲用目的ではない雑用水が足りなくなりがちです。各避難所に災害用の井戸を設けてはどうでしょうか。

委員：Cグループでは「行財政運営」について議論しました。「行政運営」については前回、「スリム化」といった意見が出ましたが、単純に職員を減らせばよいというのではなく、効率的・効果的に事業を進める体制づくりこそが求められます。例えば、コーディネーターを置き、自治体サービスのワンストップ化を進めたり、民間の活用、ボランティアの育成なども考えられます。また、行政の取組を分かりやすく伝える工夫も重要であり、タウンミーティングの実施などが考えられます。「財政運営」については、事業の「スクラップ&ビルド」が重要と考えます。行政評価の手法を検討し、事業の費用対効果をしっかり把握しなくてはなりません。また、補助金の見直しも必要です。市の財政的な体力の強化という面では、工業特区化を行うことで、地元の雇用を増やし、人口増に結び付けることが考えられます。地域産業の発展には行政のバックアップも必要です。最後に「公共施設」については、施設の複合化・多機能化を進めることが重要です。学校の廃止などがあった際の活用策を事前に考えておくことも有効ではないでしょうか。

委員：Bグループでは「協働・コミュニティ」について議論しました。「市民活動・コミュニティ支援」について、前回「各地区に憩いの場を設け、誰でも集えるようにする」といった意見が出ていましたが、このような場は大規模なものではなく構わないので、各地区に住む住人が歩いていける距離にあることが重要だと考えます。施設を造る際は、活動場所を1階にすることで、健常者だけでなく、障害のある人も含め誰もが参加しやすくなると思います。また、空き家を活用した集いの場の確保も考えられます。市内のどこに空き家があり、活用するにはどの程度の費用がかかるのかといった情報を行政には把握してほしいと思います。このほか、各種団体同士が交流できる環境づくりも大切です。「交流」については、前回「引きこもりの人たちに就労場所を確保する」といった意見が出ていましたが、引きこもりの人を就労に結び付ける支援は大変重要です。また、高齢化していく中で、介助者への支援も求められます。前回はこのほか「地域で学校でお互いを知る」といった意見もありましたが、学校を中心に世代間交流や国際交流を進めてはどうでしょうか。具体的には子育て中の母親と高齢者との交流の場づくりなどが考えられます。いずれにしても、こうした取組を進めていくに当たっては、リーダー役を担う人が必要になると思います。「情報共有」については、防災無線の多言語化、優しい日本語の活用、聞き取りやすくする工夫などが必要です。最後に「人権・男女共同参画・平和」については、学校教育に組み込んでいくことが重要です。学校教育を通

じて LGBT の方への理解を促したり、SNS の使い方を指導する必要があります。このほか、市の課長ポスト以上に女性を増やしていく取組なども求められます。

(他グループからの意見)

委員：団体同士の交流は重要だと思います。男女共同参画については、本日も含め、各種会議で男性が多いのが気になりますので、対策が求められます。

委員：防災無線で行方不明者の情報を流すことがあります。発見後のアナウンスがありませんので、情報を市民と共有するようお願いします。

委員：A グループでは「健康」について「人」「地域」「まち（市）」の3つの切り口から議論しました。まず「人」については、「規則正しい生活」「食育」「フレイル予防」「生活習慣病予防」「心の健康」「スマートフォンのやりすぎ注意」などが重要です。「フレイル予防」は加齢とともに体力が落ちていくのを防ぐものですが、運動や食事、社会参加が大切です。また、「生活習慣病予防」は若い頃から取り組むのが効果的です。次に「地域」については、「社会参加を促す」ことが重要です。高齢者が孫と参加できるようにするなど、人を集める企画を考える必要があります。また、家事をすることも健康につながる。男女共同参画の取組も重要です。最後に「まち（市）」については、「情報提供・啓発」「健（検）診受診率向上のための取組」「健康づくりの担い手を育成」「安心して医療を受けられる体制整備」などが求められます。

(他グループからの意見)

委員：防災無線で市民にラジオ体操を呼び掛けてほしいと思います。

委員長：スポーツ少年団に入る子どもが減っています。スポーツを通じた健康づくりは大切ですので、子どもたちには運動する習慣を身に付けてほしいと思います。

委員：健康づくりで大切なのは、きれいな空気だと思います。緑を大切にすまちづくりが重要です。

委員：前回の議論で「理想の状態」として「ニートや不登校になってしまうことがない」との意見が出されていますが、ニートや不登校になってしまっても、支える体制が整っていることこそが理想の状態だと思います。

事務局：先ほど、市民会議の意見がどのように市政に反映されるのかといったご質問をいただきました。この会議では最終的に、皆さまから総合計画の素材にもなる提言書をいただくことを予定しております。総合計画は市の最上位計画であり、分野ごとの大まかな方向性を示す計画ですので、あまり細かな内容を書き込むことはできませんが、提言書には、これまでの会議で皆さまからいただいたご意見を詳しく記述することを考えております。また、提言書の提出後は、内容を庁内各課が精査した上で予算要求を行い、査定を通ったものについては市議会に事業として提案していくというプロセスを想定しております。

委員長：本日も大変お疲れ様でした。続いて、次第の3「その他」について、事務局から説明をお願いします。

3. その他

《事務局から、第8回会議は12月20日（金）、第9回会議は1月17日（金）の開催を予定している旨、連絡があった。》

委員長：なにか会議全体を通して、委員の皆さまからご意見はございますか。

委員：事業を展開する予算の裏付けについては検討しなくてよいのでしょうか。

事務局：皆さまからいただいた提言につきましては、庁内各課に内容を伝達し、その後は各課が政策の費用対効果を検討、事業費を見積り、行政経営部に予算要求を行います。そして、最終的に市長を交えて査定を行った上で予算案が決定されます。

4. 閉会

委員長：そのほか、委員の皆さまからご意見はございますか。なければ、以上をもって第7回あげお未来創造市民会議を終了します。ご協力ありがとうございました。

以上